

巻地区公民館運営審議会会議概要

実施年月日	令和3年度 第2回巻地区公民館運営審議会 令和4年3月11日（金）午前10：00～11：35		
会 場	巻地区公民館 3F 小ホール	傍聴人	0人
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・委員（8人） 福島議長、石井副議長、石田委員、小林委員、鷹雄委員、土田委員、旗本委員、山上委員 ・事務局（11人） 巻地区公民館：澤栗館長、加藤 笹川館長（峰岡公民館） 岩室地区公民館：池田館長、田島 西川地区公民館：吉田館長、大倉 潟東地区公民館：阿部館長、渡辺 中之口地区公民館：熊谷館長、野崎 		
審議案件	<p>(1) 令和3年度 公民館事業報告（1月末現在）について</p> <p>(2) 令和4年度 新潟市公民館事業の基本方針について</p> <p>(3) 令和4年度 公民館事業計画（案）について</p>		
<p>（澤栗巻地区公民館長あいさつ、福島議長あいさつ）</p> <p>以下、審議された議題について記載する。</p>			
審議概要	<p>（1）令和3年度 公民館事業報告（1月末現在）について</p>		
福島議長 ＜巻地区公民館＞	<p>初めに巻地区公民館から説明をお願いします。 ＜資料1について説明（以下各地区公民館同じ）＞</p>		
福島議長	<p>巻地区公民館の説明が終わりました。 ご質問、ご意見はありませんか。</p>		
土田委員	<p>長寿大学についてです。体操がとても好評なのですが、1回では覚えきれないこと、コロナ禍でなかなか外出や体を動かすことができない状況であることから、もう少し回数を増やし、定期的に続けられたらいいなあという感想です。また、コロナ禍で出来ること、出来ないことをみんなでもう少し考えていくことが必要であり、例えばリモートにして人数を制限すれば、もっとできることがあるのではないかと思います。</p>		

<p>福島議長</p>	<p>全体を通してのこととなりますが、土田委員からリモートであるとか年1回の開催ではなく、もう少し頻繁に学習機会の提供ができるのではないかとという提案でした。</p> <p>今この時代の中で、公民館が新しく転換していくために重要な視点であると考えます。</p> <p>学校は、この状況下で大変であると思いますが、これを受けて、リモート環境、体制が現実には充実してきている状況にあります。</p> <p>また、別の視点ですが、幼児期家庭教育学級を単発で開催している巻地区であっても参加者が3名という状況であって、では必要ないのかというと、実際に課題を抱えている子育て家庭はたくさんあって、しかしなかなか手が届かない状況にもあって、地域で支えていくためには公民館だけで考えるのではなく、保健センター、保健師さんと連携して開催する幼児期家庭教育学級などを模索していく必要があるのではないかと感じたのでお話ししました。</p>
<p>巻地区公民館長</p>	<p>今のお話の中で、保健師さんとの連携というお話ですが、お母さん方の不安解消のため、今年度までは幼児期家庭教育学級や乳児期家庭教育学級において保健師と連携もしながら実施したのですが、新潟市の事情により、保健分野は保健分野の所属がやるという方針になり、満足度も高く好評を得ていたため大変残念なのですが、令和4年度から公民館事業の講座は保健分野を切り離し、保健分野から講師を招かず実施していくこととなりました。</p> <p>リモート関係ですが、巻地区公民館はネット環境がなかったのですが、現在学校ではネット学習が進んでおり、ネット環境がないとなかなか学習ができないという状況から巻地区公民館1階の学習室にネット回線がつながる環境を整備するための予算措置がされ整備を進めてまいりますが、残念ながら西蒲全公民館にまでは環境を整える予算措置はされていない状況となっています。ご意見のとおり、今後、巻地区公民館だけでなく、リモートにより西蒲区全体で実施し、全館のどの講座でも参加できるという環境づくりは進めていきたいと考えています。</p>
<p>福島議長</p>	<p>リモートに関しては、特定の公民館の事業としてではなく、市全体の公民館事業として企画、発信し、市民がどの講座にも受講できるという視点が大事であり、今後そのように進展していくのではないかと思います。</p> <p>保健分野との連携については、公民館に来てねという発想ではなく、例えば3歳児検診や入学説明会の時には必ず保護者が来るのだから、そういう時に公民館で何が提供できるのかを考え、すり寄っていくという視点の切り替えが必要ではないか、そこにまだ幅が残っているのではないかと考えます。</p>

巻地区公民館運営審議会会議概要

実施年月日	令和3年度 第2回巻地区公民館運営審議会 令和4年3月11日（金）午前10：00～11：35		
会 場	巻地区公民館 3F 小ホール	傍聴人	0人
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・委員（8人） 福島議長、石井副議長、石田委員、小林委員、鷹雄委員、土田委員、旗本委員、山上委員 ・事務局（11人） 巻地区公民館：澤栗館長、加藤 笹川館長（峰岡公民館） 岩室地区公民館：池田館長、田島 西川地区公民館：吉田館長、大倉 潟東地区公民館：阿部館長、渡辺 中之口地区公民館：熊谷館長、野崎 		
審議案件	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度 公民館事業報告（1月末現在）について (2) 令和4年度 新潟市公民館事業の基本方針について (3) 令和4年度 公民館事業計画（案）について 		
<p>（澤栗巻地区公民館長あいさつ、福島議長あいさつ） 以下、審議された議題について記載する。</p>			
審議概要	<p>（1）令和3年度 公民館事業報告（1月末現在）について</p>		
福島議長 <巻地区公民館>	<p>初めに巻地区公民館から説明をお願いします。 <資料1について説明（以下各地区公民館同じ）></p>		
福島議長	<p>巻地区公民館の説明が終わりました。 ご質問、ご意見はありませんか。</p>		
土田委員	<p>長寿大学についてです。体操がとても好評なのですが、1回では覚えきれないこと、コロナ禍でなかなか外出や体を動かすことができない状況であることから、もう少し回数を増やし、定期的に続けられたらいいなあという感想です。また、コロナ禍で出来ること、出来ないことをみんなでもう少し考えていくことが必要であり、例えばリモートにして人数を制限すれば、もっとできることがあるのではないかと思います。</p>		

<p>福島議長</p>	<p>全体を通してのこととなりますが、土田委員からリモートであるとか年1回の開催ではなく、もう少し頻繁に学習機会の提供ができるのではないかとという提案でした。</p> <p>今この時代の中で、公民館が新しく転換していくために重要な視点であると考えます。</p> <p>学校は、この状況下で大変であると思いますが、これを受けて、リモート環境、体制が現実に充実してきている状況にあります。</p> <p>また、別の視点ですが、幼児期家庭教育学級を単発で開催している巻地区であっても参加者が3名という状況であって、では必要ないのかというと、実際に課題を抱えている子育て家庭はたくさんあって、しかしなかなか手が届かない状況にもあって、地域で支えていくためには公民館だけで考えるのではなく、保健センター、保健師さんと連携して開催する幼児期家庭教育学級などを模索していく必要があるのではないかと感じたのでお話ししました。</p>
<p>巻地区公民館長</p>	<p>今のお話の中で、保健師さんとの連携というお話ですが、お母さん方の不安解消のため、今年度までは幼児期家庭教育学級や乳児期家庭教育学級において保健師と連携もしながら実施したのですが、新潟市の事情により、保健分野は保健分野の所属がやるという方針になり、満足度も高く好評を得ていたため大変残念なのですが、令和4年度から公民館事業の講座は保健分野を切り離し、保健分野から講師を招かず実施していくこととなりました。</p> <p>リモート関係ですが、巻地区公民館はネット環境がなかったのですが、現在学校ではネット学習が進んでおり、ネット環境がないとなかなか学習ができないという状況から巻地区公民館1階の学習室にネット回線がつながる環境を整備するための予算措置がされ整備を進めてまいりますが、残念ながら西蒲全公民館にまでは環境を整える予算措置はされていない状況となっています。ご意見のとおり、今後、巻地区公民館だけでなく、リモートにより西蒲区全体で実施し、全館のどの講座でも参加できるという環境づくりは進めていきたいと考えています。</p>
<p>福島議長</p>	<p>リモートに関しては、特定の公民館の事業としてではなく、市全体の公民館事業として企画、発信し、市民がどの講座にも受講できるという視点が大事であり、今後そのように進展していくのではないかと思います。</p> <p>保健分野との連携については、公民館に来てねという発想ではなく、例えば3歳児検診や入学説明会の時には必ず保護者が来るのだから、そういう時に公民館で何が提供できるのかを考え、すり寄っていくという視点の切り替えが必要ではないか、そこにまだ幅が残っているのではないかと考えます。</p>

<p>福島議長</p>	<p>全体を通してのこととなりますが、土田委員からリモートであるとか年1回の開催ではなく、もう少し頻繁に学習機会の提供ができるのではないかとという提案でした。</p> <p>今この時代の中で、公民館が新しく転換していくために重要な視点であると考えます。</p> <p>学校は、この状況下で大変であると思いますが、これを受けて、リモート環境、体制が現実に充実してきている状況にあります。</p> <p>また、別の視点ですが、幼児期家庭教育学級を単発で開催している巻地区であっても参加者が3名という状況であって、では必要ないのかというと、実際に課題を抱えている子育て家庭はたくさんあって、しかしなかなか手が届かない状況にもあって、地域で支えていくためには公民館だけで考えるのではなく、保健センター、保健師さんと連携して開催する幼児期家庭教育学級などを模索していく必要があるのではないかと感じたのでお話ししました。</p>
<p>巻地区公民館長</p>	<p>今のお話の中で、保健師さんとの連携というお話ですが、お母さん方の不安解消のため、今年度までは幼児期家庭教育学級や乳児期家庭教育学級において保健師と連携もしながら実施したのですが、新潟市の事情により、保健分野は保健分野の所属がやるという方針になり、満足度も高く好評を得ていたため大変残念なのですが、令和4年度から公民館事業の講座は保健分野を切り離し、保健分野から講師を招かず実施していくこととなりました。</p> <p>リモート関係ですが、巻地区公民館はネット環境がなかったのですが、現在学校ではネット学習が進んでおり、ネット環境がないとなかなか学習ができないという状況から巻地区公民館1階の学習室にネット回線がつながる環境を整備するための予算措置がされ整備を進めてまいりますが、残念ながら西蒲全公民館にまでは環境を整える予算措置はされていない状況となっています。ご意見のとおり、今後、巻地区公民館だけでなく、リモートにより西蒲区全体で実施し、全館のどの講座でも参加できるという環境づくりは進めていきたいと考えています。</p>
<p>福島議長</p>	<p>リモートに関しては、特定の公民館の事業としてではなく、市全体の公民館事業として企画、発信し、市民がどの講座にも受講できるという視点が大事であり、今後そのように進展していくのではないかと思います。</p> <p>保健分野との連携については、公民館に来てねという発想ではなく、例えば3歳児検診や入学説明会の時には必ず保護者が来るのだから、そういう時に公民館で何が提供できるのかを考え、すり寄っていくという視点の切り替えが必要ではないか、そこにまだ幅が残っているのではないかと考えます。</p>

巻地区公民館運営審議会会議概要

実施年月日	令和3年度 第2回巻地区公民館運営審議会 令和4年3月11日（金）午前10：00～11：35		
会 場	巻地区公民館 3F 小ホール	傍聴人	0人
出席者	<p>・委員（8人） 福島議長、石井副議長、石田委員、小林委員、鷹雄委員、土田委員、旗本委員、山上委員</p> <p>・事務局（11人） 巻地区公民館：澤栗館長、加藤 笹川館長（峰岡公民館） 岩室地区公民館：池田館長、田島 西川地区公民館：吉田館長、大倉 潟東地区公民館：阿部館長、渡辺 中之口地区公民館：熊谷館長、野崎</p>		
審議案件	<p>(1) 令和3年度 公民館事業報告（1月末現在）について</p> <p>(2) 令和4年度 新潟市公民館事業の基本方針について</p> <p>(3) 令和4年度 公民館事業計画（案）について</p>		
<p>（澤栗巻地区公民館長あいさつ、福島議長あいさつ）</p> <p>以下、審議された議題について記載する。</p>			
審議概要	<p>(1) 令和3年度 公民館事業報告（1月末現在）について</p>		
福島議長 ＜巻地区公民館＞	<p>初めに巻地区公民館から説明をお願いします。 ＜資料1について説明（以下各地区公民館同じ）＞</p>		
福島議長	<p>巻地区公民館の説明が終わりました。 ご質問、ご意見はありませんか。</p>		
土田委員	<p>長寿大学についてです。体操がとても好評なのですが、1回では覚えきれないこと、コロナ禍でなかなか外出や体を動かすことができない状況であることから、もう少し回数を増やし、定期的に続けられたらいいなあという感想です。また、コロナ禍で出来ること、出来ないことをみんなでもう少し考えていくことが必要であり、例えばリモートにして人数を制限すれば、もっとできることがあるのではないかと思いました。</p>		

<p>福島議長</p>	<p>全体を通してのこととなりますが、土田委員からリモートであるとか年1回の開催ではなく、もう少し頻繁に学習機会の提供ができるのではないかとという提案でした。</p> <p>今この時代の中で、公民館が新しく転換していくために重要な視点であると考えます。</p> <p>学校は、この状況下で大変であると思いますが、これを受けて、リモート環境、体制が現実に充実してきている状況にあります。</p> <p>また、別の視点ですが、幼児期家庭教育学級を単発で開催している巻地区であっても参加者が3名という状況であって、では必要ないのかというと、実際に課題を抱えている子育て家庭はたくさんあって、しかしなかなか手が届かない状況にもあって、地域で支えていくためには公民館だけで考えるのではなく、保健センター、保健師さんと連携して開催する幼児期家庭教育学級などを模索していく必要があるのではないかと感じたのでお話ししました。</p>
<p>巻地区公民館長</p>	<p>今のお話の中で、保健師さんとの連携というお話ですが、お母さん方の不安解消のため、今年度までは幼児期家庭教育学級や乳児期家庭教育学級において保健師と連携もしながら実施したのですが、新潟市の事情により、保健分野は保健分野の所属がやるという方針になり、満足度も高く好評を得ていたため大変残念なのですが、令和4年度から公民館事業の講座は保健分野を切り離し、保健分野から講師を招かず実施していくこととなりました。</p> <p>リモート関係ですが、巻地区公民館はネット環境がなかったのですが、現在学校ではネット学習が進んでおり、ネット環境がないとなかなか学習ができないという状況から巻地区公民館1階の学習室にネット回線がつながる環境を整備するための予算措置がされ整備を進めてまいりますが、残念ながら西蒲全公民館にまでは環境を整える予算措置はされていない状況となっています。ご意見のとおり、今後、巻地区公民館だけでなく、リモートにより西蒲区全体で実施し、全館のどの講座でも参加できるという環境づくりは進めていきたいと考えています。</p>
<p>福島議長</p>	<p>リモートに関しては、特定の公民館の事業としてではなく、市全体の公民館事業として企画、発信し、市民がどの講座にも受講できるという視点が大事であり、今後そのように進展していくのではないかと思います。</p> <p>保健分野との連携については、公民館に来てねという発想ではなく、例えば3歳児検診や入学説明会の時には必ず保護者が来るのだから、そういう時に公民館で何が提供できるのかを考え、すり寄っていくという視点の切り替えが必要ではないか、そこにまだ幅が残っているのではないかと考えます。</p>